

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

令和2年2月定例会

総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、県庁本庁舎の耐震化についてであります。

このことについて一部の委員から、第二別館の建替えや議事堂の耐震改修について、工法や整備内容の検討状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、第二別館は、現在地で建て替えることを想定し、来年度から地質調査を実施するとともに、庁舎解体及び建替工事の設計作業に着手したいと考えており、4年度に着工、7年度の完成を目指している。

整備内容については、防災オペレーションルームの設置や本庁舎外に配置しているスポーツ・文化部の集約、会議室の確保等による執務環境の改善などを想定している。

また、議事堂は、鉄骨ブレースの設置や議場吊り天井の脱落防止対策などの改修工事により耐震性を確保したいと考えており、2年度に実施設計を行うこととしている。改修工事は、3年度から約2年間で行うことを想定しており、定例会等に影響が出ないような設計・施工に努めたい旨の答弁がありました。

第2点は、デジタル総合戦略の推進についてであります。

このことについて一部の委員から、デジタル総合戦略推進体制の具体的な組織構成やどのような効果を期待しているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、来年度新たに、デジタル施策展開の司令塔となる「デジタル総合戦略本部」を庁内に立ち上げ、本県のデジタル化の方向性を示すデジタル総合戦略の策定や人材育成に取り組むほか、最新の技術動向や活用方策等に精通した外部人材をデジタルコーディネーターとして配置し、庁内募集により選定した3つのテーマについて、民間ならではの自由な発想や切り口で戦術的な助言・指導を得て、先進的で効果的な事業の実現を図りたい旨の答弁がありました。

第3点は、しまなみ海道魅力向上事業についてであります。

このことについて一部の委員から、しまなみ海道の更なる誘客促進に向け、

どう取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、しまなみ海道は、これまでの取組みにより、年間 30 万人以上のサイクリスト等が訪れるエリアになり、昨年 11 月には国からナショナルサイクルルートの指定を受けたところである。また、移住者や地域住民によるカフェやベーカリー等の創業も相次ぐなど、地域活性化に結び付いていると手応えを感じている。

これらを踏まえ、しまなみ海道最大の魅力である来島海峡大橋にスポットを当て、より本県側への誘客を促進したいと考えており、当該エリアのブランドコンセプトに基づくモニュメントの設置やエリアでの滞在時間を増やすためのコンテンツを地元事業者等と連携して造成するほか、しまなみ海道の総合的、戦略的な振興を図るため、市町等の関係者間で共有できる振興ビジョンを策定したい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・次期県税システムの開発
- ・働き方改革の推進
- ・新型コロナウイルス感染症に係る国と地方との連携や公共交通機関への影響
- ・岡山理科大学獣医学部への支援

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願 1 件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。